

# 群馬県における流域一体となった総合的な浸水対策の推進(防災・安全)緊急対策

## 群馬県の現状

群馬県では、道路、河川、公園等、膨大かつ多種多様な社会資本を管理しています。河川施設では、ダム、排水機場、堰、水門・桶管、浄化施設、除塵機、護岸・堤防などがありますが、これらの施設は高度成長期以降に大量に整備が進み、現在、その多くが修繕や更新の時期を迎えています。社会資本の老朽化や劣化を原因とする事故を防ぎ、県民の安全・安心な生活を守るために、日々の点検や適切な時期に修繕や更新を行う必要があります。

## 課題

整備後年数が経過した河川管理施設は、従来の事後的な管理では老朽化・劣化による突然の機器停止のリスクや、大きな更新費が短期間に集中することが懸念されます。特にダム施設や排水機場は、維持管理・更新費用の増大とともに事故が発生した場合の影響が大きく、厳しい財政状況の中、戦略的な計画に基づく管理が求められます。

## 目的

河川管理施設を長期にわたって安全に使用し続けるため、長寿命化計画に基づき、損傷がひどくなる前に予防的な補修を計画的に実施することで、中長期的な維持管理・更新に係るトータルコストを縮減します。また、維持管理・更新に係る費用を計画的に投資することにより、各年当たりのコストを平準化し、戦略的な維持管理・更新を行います。

## 事業の指標

**指標1** 排水機場（6箇所）において、施設老朽化による河川管理に支障をきたす障害の発生件数を減らす

当初値：2回/年(H27) ⇒ 目標値：0回/年(H31末)

**指標2** ダム管理事務所（7箇所）において、施設老朽化によるダム諸量、雨量等の正時データが連続して欠測する障害の発生件数を減らす

当初値：1回/年(H27) ⇒ 目標値：0回/年(H31末)

## 成果と達成度報告

**指標1 実績値：0回/年(H31末)**

排水機場6施設において、長寿命化計画に基づき点検及び修繕・更新を行った結果、平成29年度に大川排水機場で大規模停電による一時的な故障は生じたものの、計画期間を通して河川管理に支障を来す障害は発生しておらず、**目標を達成**できた。

**指標2 実績値：0回/年(H31末)**

ダム7施設において、長寿命化計画に基づき点検及び修繕・更新を行った結果、平成31年度までに落雷等による欠測は発生したが、老朽化に伴う欠測は発生しておらず、**目標を達成**できた。

# 群馬県における流域一体となった総合的な浸水対策の推進(防災・安全)緊急対策

課題と成果

整備の事例

## 整備効果事例

### 事例① 堰堤改良事業 大仁田ダム

#### ■位置図



箇所名：南牧村大仁田



#### ■整備効果

##### 整備前



老朽化による軽度な障害が頻発しており、重大なシステム障害の発生が予見された。

##### 整備後



設備を更新し、致命的な故障を未然に防止。

### 事例② 特定構造物改築事業 泉野川北調節池排水機場

#### ■位置図



箇所名：  
群馬県邑楽郡板倉町



#### ■整備効果

##### 整備前



ポンプの吐出量低下を引き起こす羽根車の腐食が確認された。

##### 整備後



分解整備にて、塗装を施すことで、腐食の進行を抑制。